

平成30年度 自然観察会 実施報告

四日市自然保護推進委員会

回数	第 9 回	参加者数	18 名
テーマ	ビーチコーミングと野鳥の観察		
実施日	平成31年 1月 20日	天候	少雨
場所	南五味塚～長太海岸		
コース	開会時刻（10：00） 楠緑地→（車で移動）→ 長太海岸 解散時刻（11：45）		
<p>指導内容など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前はカモ類がたくさん見られた海岸だが、今はほとんど見られない現状を見見ていただき、原因について説明しました。 ・海岸に打ち上げのごみの多さについて説明した。 ・拾った貝殻などをいれるものの用意がない参加者にビニール袋を渡したが、バケツなどの持参の案内をしたほうがよかった。 			
<p>参加者の声など（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちと一緒に参加しました。貝などを拾い、鳥を観察する中で、海やそこにすむ生き物のつながりについての話を聞き、今起きている自然の問題を知る機会となりました。 ・ちょっと寒かったけど、楽しく勉強できました。 ・骨などがあって、おもしろかったです。 ・貝のことや海に流れる下水の話が、少し勉強になりました。 ・たくさんの漂着物に驚きました。海中の栄養が少なくなっていることを知りました。 			

観察記録（観察・採集・目撃・鳴き声 などの種類）	
観察物の花期、出現期などの状況	
野鳥	<ul style="list-style-type: none"> ・以前はカモ類がたくさん見られた海岸だが、今はほとんど見られない現状を見せ、原因について説明した。 セグロカモメ、タイミルセグロカモメ、ウミネコ、ミユビシギ、シロチドリ、カワウ、イソヒヨドリ、ハクセキレイ、ハシボソガラス
貝類	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖の逃げ出しであることを説明した。 シナハマグリ

漂着物	<p><貝類></p> <ul style="list-style-type: none"> ・貝の観察のしかたを説明した。 <p>シオフキ、アサリ、シナハマグリ、バカガイ、カガミガイ、サルボウガイ、イタヤガイ、オオノガイ、ウチムラサキ、イソシジミ、オキシジミ、マガキ、イタボガキ、キヌタアゲマキ、マテガイ、トリガイ、ナミマガシワ、ムラサキガイ、アズマニシキ、カリガネエガイ、ムラサキイガイ、ズベタイラギ、アリソガイ、サクラガイ、ヒバリガイ、キクノハナガイ、シマメノウフネガイ、イシダタミ、イボニシ、レイシガイ、コロモガイ、ホソウミニナ、パイ、ツメタガイ、エゾタマガイ、オリイレボラ、アカニシ（貝殻・卵囊）、ナガニシの仲間</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚の骨と鳥の骨の見分け方の説明をした。 <p>シロスジフジツボ、タテジマフジツボ、ヨーロッパフジツボ、アミメキンセンガニ、モクズガニ、イソガニ、ガザミ、カンザシゴカイの仲間、ムカデノリ、カワウの上腕</p>
-----	--

